

今年も7色の魅力でわくわく

～2008わくわく広場のぼりべつ～

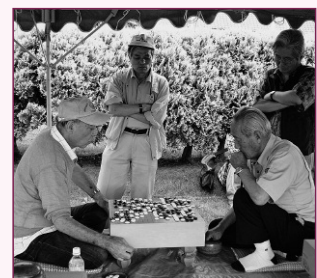
7月12日(土)・13日(日)の2日間、登別ビーチパーク(登別マリンパークニクス前庭)でまちおこしイベント『2008わくわく広場のぼりべつ～ニジのかなたへ～』(同実行委員会主催)が開かれました。

晴天に恵まれる中、ステージでは、音楽や踊りによるパフォーマンスや町内会対抗歌謡バトル、チーム対抗戦のわくわくダービーなどたくさんの催し物が行われました。

子どもたちは、子ども遊び広場や室蘭工業大学サークル『夢工房』による科学の実験に人気集中。特設会場では、囲碁や将棋などの町内対抗イベントが行われ、白熱した真剣勝負が繰り広げられていました。

そのほか登別温泉開湯150年を記念して、登別温泉のお湯で足湯を体験できる足湯体験コーナーが行われたほか、12日の20時から行われた花火大会が、イベントを盛り上げていました。

最後は、恒例のビンゴ大会が行われ、豪華景品を目指し、番号が読み上げられるたびに、歓声が上がっていました。



自然の中で楽しく子育て



～森のちょこっと子育てひろば～

7月2日(木)、ふおれすと鉱山で『森のちょこっと子育てひろば』(NPO法人モモンガくらぶ主催)が行われ、15組31人が参加しました。

この催しは、自然の中で自由に遊べる子育てひろばを提供し、親子の触れ合いの時間をサポートするため、6月4日(水)から11月26日(水)までの毎週水曜日10時から12時まで行われているものです。

この日は、ハンモックに寝っ転がったり、ブランコに乗ったりしながら、自然の中で自由に親子で過ごした後、七夕が近いことから、みんなで短冊に願いごとを書いて笹に飾りました。そして、ふおれすと鉱山周辺をみんなで散歩。途中で草笛を吹いたり、花のみつを吸ったり、ささ舟を作って川から流したりして楽しんでいました。

これからも健康づくりのお手伝いを

～市民プール『らくあ』が入館者50万人を達成～

7月11日(金)、市民プール『らくあ』の入館者が50万人を達成しました。

『らくあ』は、健康増進施設として、平成16年6月にオープンして以来、多目的プールで行われる水中運動教室や流水・歩行プール、トレーニングジムなどの利用が好調で、予想を大きく上回りおよそ4年1カ月で早くも利用者が50万人に達しました。

50万人目の記念すべき入館者となったのは、週2回水泳教室に通っている岸本君子さん(幌別町)。岸本さんは記念品を手渡され、「まさか自分が50万人目になるとは思っていなかったので、びっくりしました。これからも利用していきたいです」と笑顔で話してくれました。

また、入館者50万人に達する日を予想するキャンペーンでは、応募総数148件のうち2人の方が的中しました。

